

「タックス・コード」

13年間頑張ってもらっている愛車の車検時期がまた近づいている。自動車税を来春から割り増しして支払うことになる。古い車は環境にさらに負荷をかけるというのがその理由。私としてはどうにも納得がいかない。10年未満で廃車にして新車に乗り換えるのと、10年以上乗り回すのとどちらが環境に負荷をかけないのだろうか。

という訳で、全体的に見ると正反対の事例が出てくることを考えてみた。子供のころ、冷蔵庫を開けて涼もうとしたことはないだろうか。実際に私の息子は小さいころそんなことを考えていたらしい。実際は、冷蔵庫内の熱が外に放出される訳であり、部屋の気温は上昇する。しかしそんなことに考えは回らない。ちなみにこれは昨今のクーラーに対しても同じことが言える。では次に、これとよく似たもう少しスケールの大きな話をしてみよう。日本は降水量が比較的多く水が豊富にあるといわれているが、総合的に見ると大量の水を輸入しているそうである。日本の川は急流で降った雨はすぐ海に流れてしまうという地形的な理由や、昨今水道水を飲まずにミネラルウォーターを飲む人が増えたからではない。食用あるいは飼料用に大量の穀物を輸入しているため、間接的に大量の水を輸入していることになるらしい。穀物の成育には大量の水が使用されていることから、穀物を輸入することは、水を輸入していることになる。「水」という直接的なもので考える場合と、「水の利用」という間接的なものまで含める場合とでは結論が異なってしまう。

世の中、長期的総合的視野に立った判断があまりにも少なくなってきたような気がする。

(寒地河川チーム上席研究員 渡邊 康玄)

* * * *

表紙左上記号 ISSN 1881-0497の説明

国際的なコード番号である ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。